

都立井草 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科: 芸術

科目: 美術Ⅱ

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組～ G 組

教科担当者: (AB組: 大隅) (CG組: 大隅) (D組: 堀場) (EF組: 池田) (組:) (組:)

使用教科書: (美術Ⅱ 光村図書)

教科 芸術

の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な知識、技能を応用し、発想を形にする力を身に着ける	豊かで自由な発想を身に着け、表現力を磨く。	意欲的に制作に取り組み、完成度の高い作品を制作する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		絵・彫	デ	映							
1 学 期	【学びに向かう力、人間性等】 オリエンテーション	自己紹介や他己紹介を通して互いをよく知り、今後の制作に生かしていく。				互いをよく知り、今後の活動に備え準備ができていくか。				○	2
	【知識及び技能】 シルクスクリーン版画 (エコバックのデザイン) 【思考力、判断力、表現力等】 エコバックのデザインのアイディア スケッチ	エコバックのプリントデザインを考え、身近で使用する物と美術とのかかわりを深める。	○	○		技法、版画の基礎について理解しているか。				○	4
	【知識及び技能】 シルクスクリーン版画 (エコバックのデザイン) 【思考力、判断力、表現力等】 エコバックのデザインのアイディア スケッチ	シルクスクリーンの技法を理解し、色や配置などを考え、アイディアスケッチを制作し、版画として効果的な図案を考える。	○	○		自らの発想を具現化しようと努力し、制作に取り組んでいるか。効果的なデザインとなっているか。				○	10
	【知識及び技能】 シルクスクリーン版画 (エコバックのデザイン) 【思考力、判断力、表現力等】 エコバックのデザインのアイディア スケッチ		○	○	○	表現の工夫がなされているか。根気強く完成度の高い作品作りに取り組んでいるか。 他者の表現を理解し、意見、感想をまとめて表現できるか。				○	6
2 学 期	【知識及び技能】 絵巻物 【思考力、判断力、表現力等】 絵巻物のアイディアスケッチ 【学びに向かう力、人間性等】 絵巻物の制作	絵巻物についての理解と構想 日本の伝統的な技法を学び、日本独特の表現方法「絵巻」について制作しながら理解を深めていく。 制作手順を理解し、絵巻にふさわしい内容を考察し、全体の下書きを完成させる。	○	○	○	内容を理解し、構成がしっかりできているか。絵巻物としての作品作りができていくか。 発想や構想の面白さ。 展開する力。				○	12
	【知識及び技能】 絵巻物 【思考力、判断力、表現力等】 絵巻物のアイディアスケッチ 【学びに向かう力、人間性等】 絵巻物の制作、鑑賞	筆、墨、胡粉、顔彩など伝統的な画材を使用し、表現を工夫しながら絵巻の面白さを体験させ、理解を深める。	○	○	○	画材の使い方や表現方法を工夫し、自らの考えや構想に適した技法となっているか。 細部までの描きこみと全体の流れを確認し、より完成度の高い作品を目指す。 完成した作品を鑑賞し合い、個々の作品を理解し、良い点を知る。				○	16
3 学 期	【知識及び技能】 スクラッチについて 【思考力、判断力、表現力等】 スクラッチのアイディアスケッチ ニードルの使用 【学びに向かう力、人間性等】 スクラッチでの制作、鑑賞	スクラッチの技法を理解し、テーマに沿った表現を工夫する。 ニードルの使い方を工夫し、様々な表現ができるよう指導する。	○	○	○	技法、版画の基礎について理解し、自らの表現につなげているか。発想の独自性。表現の豊かさ。				○	10
	【知識及び技能】 スクラッチについて 【思考力、判断力、表現力等】 スクラッチのアイディアスケッチ ニードルの使用 【学びに向かう力、人間性等】 スクラッチでの制作、鑑賞	スクラッチの技法を理解し、テーマに沿った表現を工夫する。 ニードルの使い方を工夫し、様々な表現ができるよう指導する。 完成した作品を鑑賞し合い、互いの個性や発想を知り、理解する。	○	○	○	技法、版画の基礎について理解し、自らの表現につなげているか。発想の独自性。表現の豊かさ。 他者の表現や発想を理解し、気づいたことや感想を言語化して発表できたか。				○	10
										合 計	70